

戸田市議会議員 2期目 **市民が最優先。**

酒井いくろう

無所属 41才



あなたの声が必要です!

～市民の意思が最大限反映される政治を～

私は市議会議員としての8年間、皆様から何百というご意見を頂き、議員活動につなげてきました。しかしながら、日常生活の視点からの課題がまだまだ多く残っていると感じます。それらの課題を中心に、今号では「酒井の重点政策」としてまとめました。重点政策の多くは、皆様から生のご意見を頂き、実際に確認し、その上で課題として設定してきたものです。皆様に共感頂ける内容になっているでしょうか?どうかご意見をお寄せください。皆様の声を反映してまいります。

医療政策、コンサルティング、保育・幼児教育、医学教育、現在は戸田市議に。こんな経歴を経てきました。

【学生時代】—医療政策についての調査研究。「だれもが安心できる医療の実現」を目標に、現場検証と分析をくり返し行いました。

【コンサルティング会社】—企業のコスト削減、組織運営の効率化等。

【保育会社】—保育所の新設や、幼児教育を担当。共働き家庭の支援、乳幼児の生活環境づくり、保育現場の働きやすい職場づくりなどを実施。

【医学教育】—大学・専門学生への医学教育事業。スタッフを指揮すると共に、自身も延べ500人以上の学生の学業や受験、進路を指導。



学生からの寄せ書き。学生の悩みや学業の課題に、一緒になって向き合ってきました。



「すてないで!せんきょケン」。2011年から各選挙で実施している「投票率向上キャンペーン」のマスコットです。

酒井いくろう

1975年3月4日生まれ。無所属、2期目。会派「戸田の会」代表 【略歴】東京大学医学部卒業、同大学院修了(医療政策)、マッキンゼー(経営コンサルタント)、(株)ポピンズ(保育)、医学教育事業。2009年より戸田市議会議員 【家族】妻、子3人(娘5才・3才、息子1才) ※初選挙より選挙カーを使わず、政策本位で活動中

子育て 子どもの笑顔と将来への期待を育てます



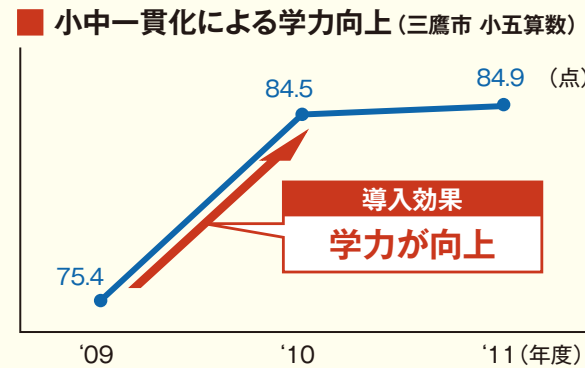
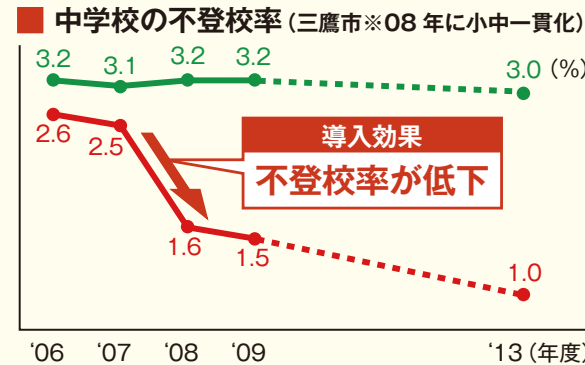
戸田市の教育改革は、全国学力調査で好成績を上げるなど、これまでのところ大成功しています。今後は小中一貫化を核とした次の改革を提案し、改革の後退を防ぎます。また、子育て支援に「学び」の視点を取り入れ、親の負担にも配慮します。

教育改革をさらに進めます

①戸田東小・中で小中一貫化が実現(2021年)へ!市内全校での一貫カリキュラム導入を推進します。

▼小中一貫化の導入効果▼

全国の導入校では、学力、意欲、体力面など、いずれも大きな効果がでています。



②習熟度別クラス、多学年混合クラスを導入し、学力とリーダーシップを育てます。

- ③教育委改革に向け、教育委員の公募制を導入します。
- ④貧困家庭の進学をサポート。高校生・大学生の奨学金を「一定以上の成績を条件とする」返還免除の制度に。

幼少期から大きく育てます

①学童保育を改善します。学習・その他活動の充実や安全性の確保、指導員の資質向上を。

学童保育には、「活動が単調」「宿題などへのサポートがない」などの課題が。民間の力を借りて適切な遊びや活動、学習プログラムを提供し、成長の場としたい。

- ②保育所の待機ゼロへ!保育士・物件の確保、事業者誘致、幼保一元化など、全学的な取り組みで実現します。
- ③バウチャー制(利用券方式)により習いごとや子育て支援サービスを利用しやすく。市内事業者も育成します。
- ④公園内の乳幼児向けコーナーを充実させます。

たとえばこんなこと
「公園内に乳幼児向けの体操器具コーナーを」「夏の日よけ設置や蚊対策など、利用者の側に立った整備を」

- ⑤外出時に授乳、おむつ替えできる施設の整備、バリアフリー協力店の普及を図ります。
- ⑥一時保育を利用しやすく。定員増や利用制限を改善。

酒井いくろうは、

- 1.「市民が最優先」しがらみのない立場で、“既得権を持った一部の人間”ではなく、“市民”の意思を反映してまいります。
- 2.「税金のムダ一掃」行政の効率化に近道はありません。コストを分析し、具体的なムダを指摘していきます。
- 3.「議員特権の廃止」議員特有の手当や制度を廃止し、支出の削減をはかります。



支えあい すべての人が、普通に暮らせる町へ



今や「人生90年」時代です。健康長寿だけではなく、「セカンドライフ」の充実を目指し、シニア世代を強力にサポート。万一、介護が必要になった方や、障がいのある方でも、不自由なく移動や活動ができるインフラの整備を進めます。

長寿社会に即したまちづくりを

- ①シルバー人材センターを抜本改善。教育や農業など人気の職種を開拓し、技能や希望に合わせたマッチングを支援します。
- ②シニアが楽しめる公園やデイケア施設の増設、市民大学の充実を。
- ③住み慣れた地域で暮らせる、様々な形態の高齢者住宅を整備します。
- ④高齢者の在宅生活を支援。在宅医療を推進し、在宅サービス関係者の連携を強化します。
- ⑤転倒骨折の防止に努めます。道路や家庭内の段差をなくす「バリアフリー化」を推進します。

仲の良い祖母が転倒骨折で入院。高齢者にとっては人生を一変させる重大事だと痛感しました。



- ⑥新人職員を地域連絡職員として配置。地域の核として育成し、独居シニア世帯の孤立防止等に当たります。

健康づくりを進めます

- ①住民ボランティアによる運動サロンを後押し。また、中高年が利用しやすい民間の体操教室の利用を支援。
- ②がん検診を改善し、早期発見につなげます。例えば、胃内視鏡検診の普及など検査方法・項目の選別や、婦人科がん検診における女性医師の配置、好発年齢における毎年など、便利で効果的な内容にします。
- ③幼児から高齢者まで、すべての年代で健康教育を行います。幼保・小中学校での食育、卒煙支援、運動支援など、継続して学べるしくみを提供します。

障がい者と家族の支援充実を

- ①障がい者が自立して生活できるよう基盤整備を進め、活動の場を広げます。
- ②発達障害の知識を普及し、早期発見を推進します。

- ③通級学級の充実に加え、民間学習教室の利用を補助。一人一人に合わせたサポートを支援します。
- ④戸田市内に県立の特別支援学校の誘致を。

和光市の特別支援学校(写真)に50人以上の戸田っ子が通っています。バスによる片道1時間の通学は負担が重く、荒川を渡るため災害時の不安も。市内に特別支援学校があれば、市内小中学校との連携も期待できます。



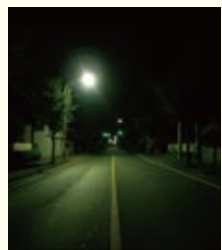
生活環境 便利で住みよい、みどりの住宅都市へ



求められるのは「民間感覚」、行政のスピード感や顧客(市民)第一の姿勢です。民間が仕事しやすい、働く人が住みやすく子育てしやすい町を作ることで、新産業を呼び込み戸田市に税収と活力をみなぎらせます。また、市民の協力を仰ぎ、大震災への備えを万全なものにします。

市民目線で住みよい町に

- ①子乗せ自転車の夫婦利用など、「値上がりしたのに不便になった」駐輪場を改善します。
- ②商業施設や飲食店など賑わいある駅前再整備や、いまだ市内全域に見られる浸水対策等、町のインフラ整備をスピードアップします。
- ③道路環境を検証し、子ども連れや高齢者などの「交通弱者」に配慮します。



市内に自転車道の整備が進む一方、事故の多発する交差点が放置されている例や、街灯が少なく夜道が暗い箇所(写真)もあります。集中的な対策を行い、安全につなげます。

- ④公共空間における分煙対策を強化します。
- ⑤申請の簡略化や窓口の一本化等、手続きの負担を軽減。

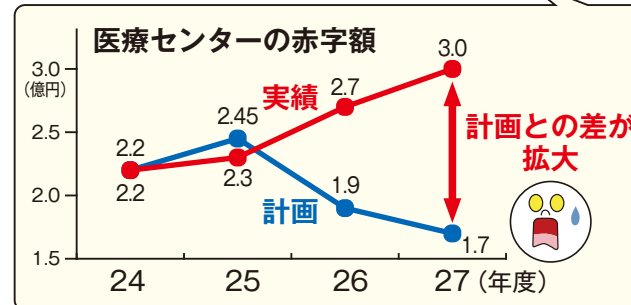
行政改革 ムダをなくし、税金の使い道を改善



戸田市は「財政豊か」なイメージを持たれることが多いようです。ところが今では、莫大な収益を上げていた競艇は見る影もなく、産業は流出し続け、急激な人口増に応じた福祉や教育の予算がかさんでいます。行政、議会の双方に意識改革が必要です。

税金のムダ一掃を!

- ①市民医療センター、年間3億円の赤字解消と医療サービスの質向上へ。民間の力を借りて抜本改革を。



- ②巨額のシステム予算(年間10~20億円弱)削減を。随意契約からの脱却を目指し、システムを見直します。
- ③外郭団体改革。(1)整理削減、(2)「現金だけで5億円以上」遊休資産の活用、(3)役員ポストの天下り廃止。
- ④行政コストの公表を。施設別の運営費、事業ごとの費用等、データが簡単に分かるよう工夫します。
- ⑤しがらみのない立場から、フェアで開かれた入札・契約・業者指定改革を断行します。
- ⑥業務改善に熱心な職員を評価する仕組みに。

市事業の中の既得権廃止を。突き上げにさらされる職員の、現場からの改善をサポートします。

- ⑦住民投票を制度化します。大型のハコモノその他、重大事項について市民の意思を確認します。

議員特権の廃止、今度こそ!

- ①議会を能率化し、議員報酬3割カット。
- ②「お手盛り防止」議員報酬、議員定数について外部委員会に意見を求めます。
- ③「行政への要望、すべて公表」口利き防止条例を制定。
- ④費用弁償(出席手当。1日当たり1500円)廃止。
- ⑤政務活動費や視察内容の外部監査&ウェブ公開。
- ⑥議員海外派遣の大幅な見直し(または廃止)。
- ⑦「県内平均の約3倍」衛生センター議会、「全国トップクラス」競艇議会、各報酬の見直し。



ほぼ全市議会議員が、あて職として戸田市関連団体である衛生センター議会・競艇議会の議員を兼職。市議会議員報酬とは別に報酬が支払われています。

- ⑧県外視察を精査し、不要なものを削減します。

大地震への備えを急げ!

- ①市の配布物を全戸配布し、不公平を是正します。

「広報戸田市」や防災マップ等が配達されない世帯が多くあります。全戸配布を行うことで情報格差を解消し、地元への関心や防災意識を促します。

- ②未だ不十分な、防災拠点や住宅の耐震化、マンションの防災対策などのスピードアップを図ります。

戸田市議会議員 酒井いくろう

質の高い議員活動のためには、皆様からのご意見が必要です。どのようなことでもぜひご一報下さい。



[TEL/FAX] 048-432-9168
[Eメール] ikuro.sakai@gmail.com
sakai-ikuro.com
www.facebook.com/sakaiikuro